

令和4年度

帯広市文化活動功労賞

令和4年11月3日

帯広市教育委員会

帯広市文化活動功労賞



十勝民謡連盟（設立 52 年）

《略 歴》

昭和45年	十勝民謡連盟設立
昭和45年～	「民謡民舞十勝大会」を毎年開催
昭和50年～	創設された「十勝小唄のど自慢大会」の運営に参画
昭和52年～	創設された「どさんこ甚句全国大会」の運営に参画
昭和59年～	創設された「十勝馬唄全国大会」の運営に参画
平成7年～	創設された「どさんこ舟唄全国大会」の運営に参画
平成25年	長年にわたる「帯広市社会福祉協議会」への寄附に対し、同協議会から感謝状を受贈
令和元年	創立50周年を迎える

《受賞理由》

十勝民謡連盟は、昭和45年に発足して以来、52年の長きにわたり地域の民謡文化の伝承、発展に尽力されてこられました。会員による年次発表大会である「民謡民舞十勝大会」を発足以来毎年開催し、地域の文化行事へも精力的に参加するほか、他団体が主催する郷土民謡の「十勝馬唄全国大会」、「どさんこ甚句・舟唄全国大会」、「十勝小唄のど自慢大会」の運営に参画するなど、民謡文化の発展向上を支えるそれらの活動は斯界から高い評価を得ています。また、近年は多くの子どもの会員が全道、全国大会で優秀な成績を収められているほか、三味線、尺八、太鼓などの伴奏者育成にも取り組み、民謡文化の伝承、後進の育成に多大な貢献をされています。

このように十勝民謡連盟は、地域の民謡文化の普及発展にひたむきな努力を続け、その活動と功績が顕著であると認められることから、帯広市文化活動功労賞を贈り顕彰するものです。